

令和3年8月号 (2018.2019 撮影)

1. キビタキ【黄鶺鴒】 (スズメ目ヒタキ科 [山ヒタキ亜科](#)) (渥美半島にて撮影)

全長 13~14cm。雄は頭部から背面にかけて黒く、眉斑、腹部と腰は黄色。翼に白い斑がある。喉は鮮やかな橙黄色です。5回目の登場。キビタキは比較的林などがあれば、家の近くにもあらわれたりしてくれます。上段の



(上段：2018.5.10.撮影)

写真がオスで、下段がメス。全く種類が違う鳥に見えます。静かに枝に止まっており、メスには気が付かないことが多いです。このメスの写真は、ごそごそと車で準備していたら、こちらをじっと見ていたところを、撮影しました。この時期の森の中は、結構ムシムシとしているところもありますが、低山でも急に涼しいスポットが現れたりするので、そんな場所で、待っているといろいろな生き物が現れたりしてくれます。

(下段：2019.7.8 撮影)



キビタキは小さな鳥ですが、見た目も、鳴き声も魅力ある鳥です。皆さんも一度観察してみたいかがでしょうか？ただコロナの影響で、キャンプを楽しむ方も増加し、日本紅斑熱がかなり増えているようなので、服装や予防には注意してください。長袖、長ズボン、帽子、防虫スプレーは必需品になります。私は携帯用アースマットも利用しています。